



名称	銅鐘
よみがな	どうしょう
指定	市指定
種別	重要文化財
種類	工芸品
所在地	本町
所有者	三原市
員数	1口
指定年月日	昭和37年(1962)5月28日
構造形式	金属製
法量	高さ 110.0cm 口径 64.0cm
時代	室町時代 天正4年(1576)
公開状況	常時公開
交通案内	JR三原駅から北西へ約500m

【解説】

かつては、妙正寺坂の西側にある鐘撞堂につるされ、「時の鐘」として親しまれたほん鐘しょうです。

上端に懸垂用のりゅうず龍頭と特殊な小筒のある朝鮮式の鐘で、三原いもじ鑄物師の鑄造作品としては市内最古のものです。この鐘は、天正4年(1576)に鑄造されたもので、江戸時代以降、三原鑄物師として名を残した竹原屋の初代吉井信正の作です。